



ザボリージャ・ドニプロダム攻撃 2024年7月22日
"The Kyiv Independent" 紙

【2022年】

3月4日 ウクライナに侵攻を開始したロシア軍が占拠。
ザボリージャ原子力発電所はロシアに占領された。
5月28日 神戸国際支縁機構、「カヨ子基金」第1次ウクライナ訪問。
8月 ロシアとウクライナの双方が相手側の砲撃を非難。
9月1日 国際原子力機関（IAEA）の調査団が視察。
11日 唯一稼働していた6号機が運転停止。
10月5日 ブーチン大統領が国有化する大統領令に署名。

【2023年】

6月6日 貯水池を冷却水の水源としていたロシア軍占拠下のカホウカ・ダムが爆壊。
6月19日 第5次ウクライナ訪問。神戸国際支縁機構、「カヨ子基金」現地視察。ヴィシチエラシフカ村。オレクサントル村長が歓迎。

【2024年】

6月29日 ザボリージャ攻撃。子ども2人を含む7人が死亡。子ども8人を含む31人が負傷。
7月8日 キーウ小児病院にミサイル、ウクライナ全土で41人死亡。
7月10日 ヴラッド、ミトロファン司祭、ルスランなど多数から連絡。
在日ウクライナ人たとしと神戸国際支縁機構の街頭集会（5回目 2024年5月28日）や、マスコミ関係はホームページなどに掲載。

壊滅的な放射性廃物が発生する可能性のある深刻な危機を警告していました。

被災者たちから恐怖体験のヒアリング。続いて、原発から10キロ圏内にある対岸の漁師村ヴィシュチャタラシフカへ。ロケット弾が放射性廃棄物貯蔵エリアを襲い、モニターは

ビニールで覆われていました。市街地に繰り出し、2023年の3月からドローン爆撃被害の爪痕、生存者のドロップカーカーへ。ロケット弾が放射性廃棄物貯蔵エリアを襲い、モニターは

ウクライナ国ザボリージャ市への攻撃

神戸国際支縁機構（KISO）季刊誌

【発行人】 岩村義雄（携帯 070-5045-7127）
【事務局】 〒655-0049 神戸市垂水区御幸台5-1-101
Tel(078)782-9697 Fax(078)784-2939
E-mail:kiso@mbe.nifty.com
【石巻支所】 阿部とよ子
〒986-2121 宮城県石巻市渡波町3-5-37
【熊本支部】 大島健二郎
〒862-0939 熊本市東区長嶺南4-4-27
【千葉支部】 嶋田博信
〒294-0234 千葉県館山市布良303
年4回 2月、5月、8月、11月
購読料 一部320円+送料80円（年会員1,600円）

✉ ヴラッドからのメール ✉

こんにちは、ヨシオ。

あなたの祈りに感謝し、あなたのエネルギーに感心しています！私の最大の願いの1つは、若くなってしまった後もエネルギーがたっぷりあることです。

「宇宙に感謝」と3日前書いたのは、宇宙ではなく、目に見えない優しい力のおかげだと思います。災害が起きないようにしてくれた、目に見えない優しい力のことです。

私が言及したロシアの戦争犯罪に関するリンクを記します。あなたの訪問中に、この水力発電所を訪れる時間がなかったと思います。

最近、気温が40°Cに達し、電気の状況はさらに悪化しています。

子ども、高齢者、病気の人々が苦しんでいます。私たちはロシアの無謀な戦争に反対し続けています。

あなたと美和さんも無理をしないように。
ヴラッド。 2024年7月19日



『読売新聞』（2023年9月19日付）



神戸国際支縁機構の訪問が現地の記事になる。
"JINNO NEWS" (July 10, 2023)

<https://kyivindependent.com/russia-launches-large-scale-missile-drone-attack-against-ukraine/>

16世紀にウクライナコサックが軍事拠点を置いた。18世紀半より実質的にロシア支配下。アレクサンンドロフスク要塞を築いた。旧ソ連時代に水力・火力発電所を建設。鉄鋼業・自動車工業・化学生産が盛んになり、重業都市として発展。現在ヨーロッパ最大の原子力発電所であるアレクサンンドロフスク。ロシア語名ザボリージヤ。住民の多くはロシア語だが、急速にウクライナ語に変わりつつある。父祖がチャルノブイリ原発に勤務し、家族は被ばく。2人の死は31人のままだが、この数字は見えない放射線の致死量を受けた。ザボリージヤに移転。ヴラッドは洗礼を受けているものの、非宗教。大学卒業後、デザイン事務所に勤務。母親は現在でも共産主義政権時代を懐かしむ。ヴラッド自身は明確な反ロシア。時代を懐かしむ。ヴラッドの立場は、立派なバングローハウスで、14キロ対岸にあるザボリージヤ原子力発電所の原子炉6基と2基の冷却塔がかかる。3千人の村長（60歳）は村の収入源である魚が捕れなくなつて嘆いていた。対岸のロシア軍による村のコミュニティも損壊していた。第5次ウクライナ報告より抜粋。

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151（代表）

MIYOSHI
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021
東京都墨田区横川3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

▼お米をもっと食べましょう

日本の「農」は20年後には4

球磨川（熊本豪雨）ボランティア

大島健二郎

日本の「農」は20年後には4分の1になります。国は学校教育やメディアを通じて、大規模農場こそコストに見合う理想として目指すよう誤導しています。これから30年は高価なトラクター、コンバイン、耕耘機に頼らず、だれでもできる無農薬、有機農法を都会の狭い場所などで拡がることを願っています。稲が元気に育つために田んぼの生き物の力が必要です。アジア、アフリカなどどこでも水深4㍍センチの「水田」には約5800種類の生き物がいます。川、池や湖より水温が高

いためミジンコ、ワムシやプランクトンが発生します。6月4日のトロトロ層づくり、続いて田植えです。水が少ないとフナ、モロコやギギが産卵できません。私たちはコウノトリが日本中に広がる夢を抱いています。そのためには、無農薬、有機以外に、エサであるドジョウが田んぼで育たないといけません。相良で、昨年は水深を増して、ジャンボタニシを防ぐことができました。

なつめ保育園（熊本県相良）の年長組、年中組の園児たちは、マメガムシ、ミミズやオケラを見つけて大喜びでした。彼等、彼女らが大人になつたとき、農機械がなくとも自分たちでおいしい安全なコメをつくる時代がきますように。

年長組（6歳）にとつては今年最後の稻
栽培です。2020年7月4日、球磨川氾
濫による50名の死者。約1,020ha、約
6,100戸の泥の被害の時、未だ生まれて
いなかつた子どもたちは元気に育ちました。
トロトロ層づくりに何度も走りました。

やはりDNAにはお百姓さんの遺伝子を受け継いでいるのでしょうか。都会の子どもだったら気味悪がつてさわることもできな
いでしょうに。

耕耘機などを用いず、5、6歳の子どもたちでもコメがつくれます。足でトロトロ層づくりです。イトミミズが生息し、土を柔らかくします。うるち米（ヒノヒカリ）の太い茎に成長します。

苗をていねいに植えて
いく作業です。昨年はじ
めて挑戦したにもかかわ
らず、器用に大人顔負け
に苗を慈しみながらやさ
しく植えています。

31年ぶり、
ゼロから翻訳した新しい聖書
『聖書 聖書協会共同訳』
-2018年12月発行-

全国書店にて
好評発売中です
www.bible.or.jp
日本聖書協会



人によし、社会によし、未来によし。

ミヨシ油脂株式会社



代表 村上裕隆

▼園児たちが機械を一切使わず、トロトロ層づくり、田植えに挑戦

動画をご覧ください。

<https://youtu.be/TiI9Lz3sVF8>

2024年5月21日、東日本大震災以降、14

回目の「復幸米」づくりに長浜幼稚園の園児た

ちが挑戦。「田・山・湾の復活」のひとつの歩

みです。宮城県石巻市渡波で、2012年、万

石浦幼稚園の故北川禮子園長が管理教育ではな

く、野外でいきいきと子どもたちが育つように

神戸国際支縁機構に委ねられました。無農薬、

有機、機械を使わない江戸時代の農法です。子

どもたちが大きくなつた時、食糧難にあつて、自分たちで都会の空き地や、ベランダのプラン

タ、屋上などでコメづくりができるようには

幼稚園の教師たちの情熱によるものです。

農薬や肥料を用いず、「保田ばかし」という乳

酸菌に相当する自然にやさしい取り組みです。

園児たちの柔らかい足で何度も走り回り、「イトミミズ」の住みかをつくります。そうすると、生き物の力で、おいしい稲が育ちます。化学肥料、農薬、除草剤を一切用いない江戸時代の農法です。カエルの卵を発見して大喜び。準備してきたヒモについた赤い目印に合わせて、園児たちが「ヒトメボレ」を植えていきます。トロトロ層づくりによつて、自分たちで自分たちが食べる稲を育てるので、やる気満々です。



『石巻かほく新聞』(2024年5月23日付)



牡鹿新聞 令和6年5月31日

「泥にまみれ園児が田植えに挑戦」
長浜幼稚園

社

鹿

新

聞

令和6年5月31日

『石巻日日新聞』
(2024年5月23日付)豊かな土壤へ泥んこ疾患
県立幼稚園「田植え体験「泥にまみれ」で泥んこ疾患
県立幼稚園「田植え体験」

『真平家物語』五家荘の先祖（第十一回）

熊本県緒方医険院院長

緒方 傑一郎

盛任を継承したのは盛光で、以下の記事がある。

盛光 左兵衛尉ト称ス応永十五年三月球磨ノ領主我領地

ヲ奪ハント謀り數十人ノ兵卒ヲ遣シ熊膽ヲ募ル

レトモ與ヘス其異心アランコトヲ疑ヒ一人モ残ラ

ス追返ス同七月又来テ鷹ヲ賄ヒ猶熊膽ヲ募ル

鷹逸

テ野ニ有り射テ是ヲ取ル今云フ所ノ鷹ノ平是也

名目上は熊（ツキノフグマ）の胆を求めてきたとい

が、相良氏の魂胆を見抜いたので、熊の胆を与えて追

返した。すると7月に鷹を土産に再びやって来て、またも

熊の胆と交換してほしいといった。しかしせっかく運んできた鷹は飛んで野原に逃げてしまったので、逃げた鷹を弓矢で射て獲つた。その場所を現在も鷹ノ平と呼んでいる。

と記録している。

このころになると、隠遁生活を送つていた一族たちは阿蘇氏や相良氏など五家荘の山中から外の世界との交流を行つてたことがうかがわれる。

なお、盛光の兄弟は女三人男一人で女兄弟の一人は甲斐宗立の正室となつたといつた。

また男兄弟は盛臣といい、豊後の戦いで討ち死にしたとある

盛光は左兵衛尉と名乗つて、その盛光の時代の出来事であるが、応永15年（1408）5月に球磨の領主相良氏が五家荘の領地を奪おうとして兵卒を數十人送り込んできた。

名目上は熊（ツキノフグマ）の胆を求めてきたとい

が、相良氏の魂胆を見抜いたので、熊の胆を与えて追

返した。すると7月に鷹を土産に再びやって来て、またも

熊の胆と交換してほしいといった。しかしせっかく運んできた鷹は飛んで野原に逃げてしまったので、逃げた鷹を弓矢で射て獲つた。その場所を現在も鷹ノ平と呼んでいる。

と記録している。

このころになると、隠遁生活を送つていた一族たちは阿

蘇氏や相良氏など五家荘の山中から外の世界との交流を行つてたことがうかがわれる。

なお、盛光の兄弟は女三人男一人で女兄弟の一人は甲斐

宗立の正室となつたといつた。

また男兄弟は盛臣といい、豊後の戦いで討ち死にしたとある

盛光は左兵衛尉と名乗つて、その盛光の時代の出来事であるが、応永15年（1408）5月に球磨の領主相良氏が五家荘の領地を奪おうとして兵卒を數十人送り込んできた。

名目上は熊（ツキノフグマ）の胆を求めてきたとい

が、相良氏の魂胆を見抜いたので、熊の胆を与えて追

返した。すると7月に鷹を土産に再びやって来て、またも

熊の胆と交換してほしいといった。しかしせっかく運んできた鷹は飛んで野原に逃げてしまったので、逃げた鷹を弓矢で射て獲つた。その場所を現在も鷹ノ平と呼んでいる。

と記録している。

このころになると、隠遁生活を送つていた一族たちは阿

蘇氏や相良氏など五家荘の山中から外の世界との交流を行つてたことがうかがわれる。

なお、盛光の兄弟は女三人男一人で女兄弟の一人は甲斐

宗立の正室となつたといつた。

また男兄弟は盛臣といい、豊後の戦いで討ち死にしたとある

盛光は左兵衛尉と名乗つて、その盛光の時代の出来事であるが、応永15年（1408）5月に球磨の領主相良氏が五家荘の領地を奪おうとして兵卒を數十人送り込んできた。

名目上は熊（ツキノフグマ）の胆を求めてきたとい

が、相良氏の魂胆を見抜いたので、熊の胆を与えて追

返した。すると7月に鷹を土産に再びやって来て、またも

熊の胆と交換してほしいといった。しかしせっかく運んできた鷹は飛んで野原に逃げてしまったので、逃げた鷹を弓矢で射て獲つた。その場所を現在も鷹ノ平と呼んでいる。

と記録している。

このころになると、隠遁生活を送つていた一族たちは阿

蘇氏や相良氏など五家荘の山中から外の世界との交流を行つてたことがうかがわれる。

なお、盛光の兄弟は女三人男一人で女兄弟の一人は甲斐

宗立の正室となつたといつた。

また男兄弟は盛臣といい、豊後の戦いで討ち死にしたとある



代表取締役 三木 晴信

〒130-0021 東京都墨田区練 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp「ヒューマニティ・ファースト」
日本アハマディア・ムスリム協会弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所

津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会前会長

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区練 3 丁目8番12号



事務局便り

事務局長 佐々木美和

1.1 大震災から5ヵ月経た能登半島北端の珠洲市三崎町寺家の方々と6月17日も再会しました。7度目の訪問です。若狭幸子さん(85歳)は独居の在宅被災者です。トイレが復旧しておられません。私たちボランティアが1月以来持ち込んだ簡易トイレセットを使用しておられます。津波で流された納屋の跡にたべる野菜を作つておられます。上戸町の瀬戸靖子さんたちも浄化槽もなく嘆息しておられました。

珠洲市長橋町にある400年の伝統の塩づくりの製塩所「珠洲製塩」は道路寸断のため、4月も引き返さざるを得ませんでした。ようやく5月6日に、再開に励む社長の山岸順一さん(88歳)にお会いしました。山岸さんは、神戸国際支縁機構の珠洲地震報告3ヶ月分を10分かけて食い入るように読まれて、感想を述べられました。年齢を感じさせない理解力、分析力には驚きました。塩作りの前は学

石川県珠洲市住民はどん底から這い上がれない

校長をなさつていたと帰途、分かり、なるほどと思わせられました。先月と異なり、6月3日の余震の影響で道路は倒壊した家屋で停滞を余儀なくされました。メディア報道では報じられなかつた惨状を見ました。国道249号の外浦の海岸線はまだつながつていません。従業員の真酒谷淳志さん(28歳)は今回も家族のようにもつてなしてください、輪島に行く複雑な近道を教えてもらいました。津波、地震で家がつぶれ、雨がもる一室でしのいでおられます。30分以上、車で買い物に行かねばなりません。自給自足の生活です。壊れた家の跡に野菜を育て、漁師から魚を分けてもらいます。能登の方は人情味が深く、永住したくなります。



自給自足なさつている若狭幸子さん
2024年6月17日

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。
本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替
口座 00900-8-58077
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱UFJ銀行
462(三宮支店) 普通 3169863
神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には書ける方は『国名』を書き添えてください。

(一社)神戸国際支縁機構

ボランティアや移住者募集中

農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。

被災地への支援物資もお願いします。

年会費をお願いします。(月に200円)

会員(年度4月~翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

海外の孤児のために支縁金をお願いします。

「小さくされた人々のための福音」講座
毎月第3金曜日
午前10時~
神戸学生青年センター
本館1階

岩村義雄セミナー
毎月第4月曜日
午後6時半~
ミント神戸17階

編集後記

〈東北朝鮮初中級学校を訪問〉

1年経つと新入生は小学校2年生。はじめて会つた時、重い米を教室に運んでくれました。

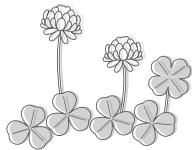
私本田寿久(63歳)も、再会を喜びました。少子化の時代の波、東北にも及んでいます。玄唯哲校長先生をはじめ教師たちも情熱をもって教えておられます。

理想的な学び舎です。

理事長 本田寿久



小学校2年生と 2024年7月9日



救援金、維持会費のご協力を感謝します。(敬称略)

2024年4月21日~7月13日

佐々木美和、岩村義雄、神戸新聞文化センター、大島健二郎(4)、日本バプテスト同盟西岡本キリスト教会、伊東鉄也、佐々木駿介、千葉幸一(宮城県石巻市)(4)、杣浩二、廣森勝久&孝子、青木…、本田商会(3)、南俊治建築研究所、春名純人、堀内穂、芦名定道、鄭恵姫、神部隆三、竹内喜子、大田正紀、島田徹、守屋香代子、李政史、今井祝雄、湯川紘未、日野謙一(2)、森一郎、河村ひとみ、(株)大塚製薬工場、河内常男、宮本博美、濱岡京子、金貴順、社会福祉法人光朔会山口元、重元勝(2)、廣瀬素子、上村由紀穂&恵子(熊本県人吉)、矢野寛子、左成和朗、泉晴代、沖浦宏隆(千葉県布良)(2)、柳澤豊&香那子、野崎和子、忍ヶ丘キリスト教会、白瀬悦子、前川和弥&幸子(4)、三芳英教、善隣キリスト教会、有年米子、有田貞一&美榮子(3)、杉山精一、井本敦幸、伊藤直樹、伊藤ヨシ子(茨城県日光市)、別所正博(2)、藤原りつ子、佐藤紀子(宮城県多賀城)、タダシズコ、小笠原貞夫、山村ちずえ、光嚴寺(宮城県石巻市)、後藤由美子、柴田珠江、佐々木ヒデトシ、秋田光彦(大蓮寺/應典院住職)、泉とも子、辻本久夫、谷合公江、阿部和夫&斎子(宮城県石巻市)、原浩司、土手ゆき子、土手朋、木村ふみ子(宮城県石巻市)、生活協同組合コープこうべ、螢池聖書教会、森田悦弘、野田健二(3)、清水孝紀、坂井純人、東灘バプテスト教会、大槻紀夫、山本穂、大島修、大島敏子、日本開拓伝道団京都教会、(株)竹中工務店、櫻井由里子(2)、緒方真喜代(熊本県相良)、徳留由美、高島邦生、小島千鶴、田口秀明(千葉県館山虚空山勝藏寺)、本田寿久、米澤澄子、嶋田博信&礼子(千葉県布良)、永野由美子、丹野恵子(宮城県石巻市)、日韓交流信徒大会西部地方会、匿名、

1,371,930円

フードバンク関西、前川和弥&幸子から菓子、柳澤豊&香那子からクッキー、尾島淳義からシチュー、本田巧&敏子(宮城県石巻市)から海苔、(株)チュチュアンナから靴下、大河戸章代から菓子、黒木征二(熊本県人吉)からワイン、小宮浩(熊本県人吉市)から前掛、藤本豊彦&サカエ(熊本県人吉)からラーメン、出村正廣(石川県珠洲市)からサザエ、野田健二から野菜、徳留由美から種々の菓子、佐藤金一郎&晴美(宮城県渡波)からオロナミンC、木村ふみ子(石巻市)から梅干し、工芸品、大島修、大島敏子(岡山県倉敷市)から桃。